| 科目名 | 社会福祉概論 | 科目分類 | □基礎教育科目　■専門教育科目<br>□卒業必修　■栄養士必修　□選択 |
|---|---|---|---|
| 英文表記 | Social welfare | 開講年次 | □１年　■２年 |
| ナンバリング | SH220D | 開講期間 | □前期　■後期　□通年　□集中 |
| ふりがな | しばた　ひろし | 授業形態・修得単位 | 講義　・　2　単位 |
| 担当教員名 | 柴田　博 | 実施方法 | ■対面のみ　□遠隔のみ<br>□対面・遠隔併用 |
| | | 実務家教員担当科目 | ○ |
| 授業のテーマ | 社会福祉の根幹である人間生活の援助のあり方を、専門職として職務を遂行していくため土台として学ぶ。 | | |
| 授業概要 | 私たちの生活は、時代とともに大きく変わっていきます。特に、生存のみしか許されなかった経済的に貧しかったころから、現在の社会福祉は生活権保障として学ぶことが重要です。その生活権の内実である私たちの生活は、いったいどういう状況にあるのでしょうか。障害者施設において、高齢者および障害者のケアマネジメントを行ってきた経験を活かして、物は豊かになったが、不安を抱える人が多くなっている現在の社会を、社会福祉の視点から学びます。 | | |
| 到達目標 | 社会福祉について学び、対人援助職としての栄養士としての活動を説明できるようになる。 | | |
| 授業時間外の学習 | 新聞等により、社会福祉・社会保障に関する記事を読むこと。 | | |
| 履修条件 | 「必修」ゆえ、特になし。 | | |

| 授業計画 | |
|---|---|
| 第１回 | テーマ：生活を支える「食」と「社会福祉」　〔ｷｰﾜｰﾄﾞ〕　食の社会的機能　高齢者の暮らし　食生活の変化 |
| 第２回 | テーマ：社会福祉の意味と対象　〔ｷｰﾜｰﾄﾞ〕　社会福祉　社会福祉の対象 |
| 第３回 | テーマ：私たちの生活と社会保障　〔ｷｰﾜｰﾄﾞ〕　社会保障制度　公的扶助 |
| 第４回 | テーマ：公的扶助　〔ｷｰﾜｰﾄﾞ〕　生活保護　ホームレス |
| 第５回 | テーマ：高齢者の福祉（１）高齢者を取り巻く状況　〔ｷｰﾜｰﾄﾞ〕　少子化　高齢社会 |
| 第６回 | テーマ：高齢者の福祉（２）介護保険制度　〔ｷｰﾜｰﾄﾞ〕　介護保険制度 |
| 第７回 | テーマ：児童家庭福祉　〔ｷｰﾜｰﾄﾞ〕　少子化　家庭環境の変化　児童福祉施設 |
| 第８回 | テーマ：障害者の福祉　〔ｷｰﾜｰﾄﾞ〕　「障害」とは　障害者福祉の法体系 |
| 第９回 | テーマ：地域福祉（１）コミュニティーと生活課題　〔ｷｰﾜｰﾄﾞ〕　生活問題　地域福祉とは |
| 第10回 | テーマ：地域福祉（２）住民参加と地域福祉　〔ｷｰﾜｰﾄﾞ〕　在宅福祉サービス　推進組織・団体 |
| 第11回 | テーマ：社会福祉基礎構造改革と権利擁護　〔ｷｰﾜｰﾄﾞ〕　措置制度　契約制度　権利擁護 |
| 第12回 | テーマ：社会福祉における援助の方法　〔ｷｰﾜｰﾄﾞ〕　直接援助　間接援助　援助の展開過程 |
| 第13回 | テーマ：社会福祉実践の場　〔ｷｰﾜｰﾄﾞ〕　公的機関　民間団体　社会福祉施設 |
| 第14回 | テーマ：社会福祉の専門職　〔ｷｰﾜｰﾄﾞ〕　社会福祉従事者　関連専門職 |
| 第15回 | テーマ：社会福祉の分野で働く栄養士　〔ｷｰﾜｰﾄﾞ〕　栄養アセスメント　居住施設　在宅サービス |
| 第16回 | 定期試験 |

| テキスト | 栄養士・管理栄養士をめざす人の社会福祉　(株) みらい |
|---|---|
| 参考文献・資料 | 必要時に配布する |
| 成績評価の方法 | 定期試験のみ。出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。 |
| 成績評価基準 | 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) |
| オフィスアワー | 講義終了後 |
| 受講生に望むこと・受講のルール | 少子高齢社会にあって、社会保障のあり方を考えてください。 |